

## 「旬」の植物紹介（6月編）

6月に咲く白い花といえば？一番に挙げるのがクリの花だと思う。窓を開けて車を走らせると甘い香りが車窓越しに漂ってくる。その中におとなしく咲いている白い花がある。「テイカカズラ」である。白い花と言えはそうなのだが、よく見ると淡いクリーム色を呈している。今回は、このテイカカズラ *Trachelospermum asiaticum* ([キョウチクトウ科](#) [テイカカズラ属](#)) に注目したい。

定家葛（ていかかずら）の名前は、『藤原定家が恋した式子（しよくし）内親王の墓石にまわりつく「葛」は、定家の執念であるという。このことから「定家葛」ついたとのこと（諸説有り）。』気根を使って石であろうが樹木であろうが、しがみついてたくましく生きている。

花はクチナシを思わせるような形をしており、さわやかな甘い香りがする。春先の3月くらいには、落下傘を思わせるような大きな綿毛が、とんがり種を風が運んで新天地を求めて飛来する。

機会あれば梅雨空に花の香りを楽しんで、春先には梢から飛来する落下傘を楽しめる。この2つに出会えたなら、きっとしあわせな気分を味わえると信じている。





引用：岡山理科大学「植物雑学辞典」  
野草の名前夏 山と溪谷社刊